

令和7年度（2025年度）熊本市児童館運営審議会 議事録

【開催日時】 令和7年（2025年）8月28日（木）14：00～16：00

【開催場所】 熊本市東部公民館 ホール

【出席者】

■事務局

■児童館運営審議会委員

亀井 裕子 委員

水町 愛 委員

竹内 博 委員

山崎 雄三 委員

角 成一郎 委員

古閑 重矩 委員

中島 花江 委員

松並 直子 委員

廣島 大樹 委員

川本 浩右 委員

森 ゆみ子 委員

高森 慶子 委員

松岡 優子 委員

以上 13 名

こども局長 小島 雅博

こども局総括審議員 光安 一美

こども育成部長 睦田 亮

○児童館長

中央区 西原公園児童館 西田館長

東 区 託 麻 児 童 館 柳田館長

〃 秋 津 児 童 館 北口館長

〃 東 部 児 童 館 水町館長

※ 代理 野中主幹

西 区 西 部 児 童 館 本巢館長

〃 花 園 児 童 館 井戸館長

南 区 幸 田 児 童 館 清田館長

南 部 児 童 館 上村館長

北 区 清 水 児 童 館 大塚館長

※ 代理 磯部主幹

〃 龍 田 児 童 館 岩本館長

○こども支援課

課長 橋本 倫子

主幹 寺尾 知子

以上 15 人

【会議資料】 ・ 令和7年度（2025年度）熊本市児童館運営審議会資料

・（別冊1）令和6年度（2024年度）児童館利用状況その他

- ・（別冊 2）令和 6 年度（2024 年度）児童館活動報告
- ・（別冊 3）令和 7 年度（2025 年度）熊本市児童館利用者アンケート報告書
- ・（別冊 4）事前質問書
- ・（参考 1）指定管理及び民間児童館運営状況
- ・（参考 2）各児童館だより（令和 7 年（2025 年）6 月号）
- ・（参考 3）令和 6 年度（2024 年度）児童室活動報告書

発言者	発言要旨
【開会】	
【熊本市挨拶】（小島局長）	
【委員・職員紹介】	
【委員長及び職務代理者の選出】委員長：亀井 裕子 委員 職務代理者：竹内 博 委員	
【審議案件（1）】令和 6 年度（2024 年度）事業報告	
事務局	（令和 6 年度（2024 年度）事業報告を説明）
	質問なし
【審議案件（2）】令和 7 年度（2025 年度）事業計画	
事務局	（令和 7 年度（2025 年度）事業計画を説明）
	質問なし
【審議案件（3）】職員研修及び情報交換その他	
事務局	（職員研修及び情報交換その他を説明）
	質問なし
【審議案件（4）】各児童館からの報告	

各児童館	(令和 6 年度 (2024 年度) 児童館活動報告を説明)
	質問なし
【審議案件 (5)】児童館利用者アンケートの実施結果について	
事務局	(児童館利用者アンケートの実施結果を説明)
	質問なし
【事前質問への回答・全体の質疑応答】	
事務局	(事前質問への回答を説明)
	質問なし
【全体での質疑応答】	
高森 慶子 委員	西原公園児童館の夏休み小学校交流会活動についてですが、3 階ホールを小学生のみの限定にしていますが、この場合、小学生は午前も午後も利用可能ということでしょうか。他の児童館のプレイルームは午前中が乳幼児、午後は小学生と分けていますが、西原公園児童館は、1 日を通して小学生が遊べるということでしょうか。
西原公園児童館 西田館長	西原公園児童館は、3 階建ての建物で、基本的に幼児を 1 階、就学前の児童を 2 階、小学校の児童を 3 階でと、危険防止・衝突防止の観点も踏まえて年代別に分けています。全年代が午前も午後も遊べるようにしています。
高森 慶子 委員	南部児童館はキャラクター探しをしていて、ガチャガチャをもらえる楽しそうなイベントがあります。児童館としては物をあげたり、遊びにきた回数によって、物を渡したりしても大丈夫なのでしょうか。渡すものは予算の中に入っているのでしょうか。色々な児童館を巡っていますが、何回来たら貰えるというのがあれば、こどもも喜ぶます。ご褒美のような、こどもが来館したくなるようなことで、物を貰えると嬉しいなと思います。

南部児童館 上村館長	キャラクター探しの賞品に関しては、以前どこかから提供していただいた安価な文具等を賞品としてお渡ししており、キャラクター探しのための予算を計上しているわけではありません。また、来た回数に応じて何かプレゼントがあればということについてですが、現在のところ、南部児童館ではそのような取組は行っておりません。
高森 慶子 委員	色々な児童館で身体測定や、誕生日のときには誕生日カードを渡していると思いますが、どうしてもその日に行けなかった場合は、後日身体測定をしてもらえるのでしょうか。また、誕生日のイベントにも保育園や仕事で行けなかった場合、後日お伝えすればいただけるのでしょうか。児童館によって違うと思いますが、貰えるなら嬉しいなと思い、お尋ねしました。 また、身体測定は午前中ですが、午前中は予定があって行けず、午後に行ったときに、職員がまた測定器の準備をするのは負担になると思います。身体測定をできる場所がなかなかありません。こども文化会館は職員にお願いすれば測定できたり、区役所でも測定できたりすると思いますが、こどもを連れて行くのは大変なので、自宅から近い場所で測れると助かります。
こども支援課 橋本課長	貴重なご意見ありがとうございます。身体測定と誕生日カードに関して、各児童館では時間を決めて実施していると思いますが、運用で対応できるかは各児童館へ要相談になるかと思います。子育て支援センターであれば、身体測定は毎日対応できますので、もし児童館で測定できない場合は、別の日に子育て支援センターに来ていただいて、というのも選択肢としていかがでしょうか。
高森 慶子 委員	児童館に行くと書類に記載しなければいけないのが面倒です。どこの児童館もそうですが、利用者の名前を記載しなければなりません。一度登録をすれば、どこの児童館でもこどもと保護者の情報が分かれば、各児童館で書類に書いて出してというのが無くなり、もっと手続きが簡単になるのではと思っています。
こども支援課 橋本課長	児童館に特化する話ではありませんが、子育て応援アプリをつくりまして、こどもの成長記録をデータベースにつけられますので、データ管理はご自分でできるの

	ではと思います。ただ、利用者の登録情報については各館との共有はできていませんので、今後の検討課題とさせていただきます。
松岡 優子 委員	普段は演劇をしていて、俳優と舞台の演出をしています。それと並行しまして、公共のホールで企画や広報をしています。県立劇場、荒尾市、福岡県の筑後、長洲などで企画広報をさせていただいています。 広報について、前回の審議会でご意見があつて広報先をご検討されたということで、より情報が広がったのかなと思っています。広報は、児童館だよりを作られていて、まず手に取ってもらうこと、興味をもってもらうこと、参加してもらうことが大事だと思いますが、活動の見え方が広報物によってイメージが違ってくるので、デザイン的な部分も考えていただいても良いのかなと思いました。職員の負担になるかもしれませんが、イラストレーターのソフトを導入するなどして、デザイン性が高いもの、冷蔵庫に貼っておきたくするようなデザイン性のあるものを考えられてもと思っています。文字が多すぎると人はなかなか見ないので、文字の精査みたいなこともされてもいいのではと思いました。コピーライターになったつもりで、インパクトのあるタイトル、ネーミングをされても面白いと思います。例えば、花園児童館の「赤ちゃん集まれ 音楽リズム遊び」の「赤ちゃん集まれ」がすごくポイントだと思います。内容も分かりますし、誘われている感じがしてとてもいいなと思いますので、もう少し中身が楽しくなるタイトルを考えても良いのではと思います。ご提案になります。
こども支援課 橋本課長	貴重なご意見ありがとうございます。広報に関しては委員からご提案をいただいたとおり課題があるところでございますので、デザインや見せ方については、引き続き工夫したいと考えています。行政側から情報発信したいことを盛り込んでしまいがちですので、受け取られる方の気持ちで広報物を工夫してまいりたいと思います。
亀井 裕子 委員長	昨年度から広報活動に関してのご意見はありまして、それに基づいて市はご検討していただいた部分があり、一昨年度よりも利用者数が増えています。そういう面

	では努力していただいている結果がでているのかなと思っています。いまのご意見も更に深めていただければと思います。
松岡 優子 委員	私はこども劇団にも関わっています。習い事になかなか行けないこどもや、お金がなく、月謝を払えないこどもがいます。児童館はそういったこども達の受け皿になれるのではないかなと思っています。児童館は習い事ができないこどもたちでも色々な経験ができる場所で、各館で色々な活動をされていて、ものすごく面白いなと拝見しました。更に色々な活動をしていただければと思っています。そのなかにアートを取り入れていただけたら良いなと思いました。活動報告を見て、児童館は学校や家庭以外の居場所に十分なっていると思いましたが、どうしても学校などでは、何かができると測られてしまう部分もあります。アートは、人との違いを楽しめたり、協調性を学べたり、自己肯定感があがったりといった効用もありますので、アート活動をぜひ取り入れていただけたら良いなと思いました。県立劇場、現代美術館、平成音楽大学と連携できるところもあるのではと思いますので、ご検討いただけると嬉しいです。
高森 慶子 委員	絵画造形クラブやアートも材料費が高騰しているようで、昔は1,000円以内で出来ていたものが、いまは材料費が2,000～3,000円くらいにあがり、児童館の先生たちもどうにか安くして、こどもたちにもっとさせてあげたいと頑張っています。材料費を安く抑えるために、不要になった絵具や廃材を集めて活用してもいいと思います。参加費をもう少し安く抑えてもらえると、より参加できやすくなるのではと思います。2,000～3,000円かかると親も参加を悩むと思いますので、1,000円くらいだと、親としても嬉しいです。その辺に予算を活用するなど、ご検討いただけると嬉しいです。
亀井 裕子 委員長	幼稚園、保育園の先生は廃材を利用するなど、色々と工夫しています。いまご意見があったことをご検討いただければと思います。
山崎 雄三 委員	児童館では色々な学年の小学生が利用していますが、こどもたちのトラブルは頻繁に起きているのかなど、こどもたちの現状をお聞かせください。児童館は社会性

	を学ぶ場だと思いますので、色々なやりとりのなかでトラブルもあって職員が介入するといった事例も多く発生しているものなのか、もしくは、こどもたちの力で乗り越えていっているものなのか、現状が分からないため、もし参考になる話があれば聞かせていただければと思います。
西部児童館 本巣所長	安全面を考慮して、午前が乳幼児、午後からが小学生と分けているところが多いです。乳幼児と小学生というご兄弟でご利用される方はどちらの時間帯でも参加されるようなこともあります。そういったときに、小学生が走り回ったりした場合は、児童厚生員が注意することがあります。この1年、西部児童館ではそういったトラブルはありません。乳幼児には必ずお母さん、お父さんがついていらっしゃいますので、保護者が乳幼児を見ていただいて、小学生の元気のいい子には児童厚生員が注意しながら運営しています。
亀井 裕子 委員長	アンケートの中にもありましたが、児童館の職員の対応がとても素晴らしいというご意見がたくさんありましたので、きっと色々なこどもたちに丁寧にご対応していただいているのかなと思います。
竹内 博 委員	質問ではありませんが、私は青少年健全育成協議会という立場で参加していますが、私たちの活動拠点も概ね各小学校区に1か所あります。青少年健全育成協議会の目的は、健全なこどもたちを育てることです。報告を聞いていると、児童館や市役所の皆様は、組織だって色々な活動をされていると思います。私たちの活動は、PTAと協力していましたが、私が住む城山校区は、PTAがなかなか機能していません。こういったなかで思ったのが、児童館とタイアップして何かできるような関係があればと思ったところです。
亀井 裕子 委員長	ありがとうございます。いまの時代ですから、色々なところが連携して、各児童館の取り組みは素晴らしいなと本当に思います。色々な内容を企画していただいていますし、こども達が十分楽しめるような内容で日々ご活躍いただいていると思います。
川本 浩右	お願いが2つございます。

委員	1つは各児童館の活動報告について、例えば、「〇〇先生」というのは世の中に何人いるのかという感じですので、「〇〇花子先生」とフルネームで書いていただければ、分かりやすいです。 もう1つは、同じく報告書のなかで、すごく盛況で良かったと記載されていますが、備考に何人くらい参加したのか何も触れておらず、どれくらい盛況だったのかという判断も分かりづらいです。今後、記載や説明の仕方をお考えいただければ幸いです。 事前にいただいた資料を読んでいまして、分かりにくいなと思ったところは、直営児童館、指定管理の児童館、民間の児童館、3つの児童室のそれぞれの違いというのは、少し分かってはいましたが、事前にいただいた資料には、指定管理の児童館、民間の児童館、3つの児童室については、所在地も何にも記載がありません。本日いただいた資料では分かりますので、この資料を事前にいただければ問題ありませんが、少し分かりづらいなと思いますので、改善をお願いします。
こども支援課 橋本課長	ご意見ありがとうございます。来年度の資料はより分かりやすく改善を図ってまいりたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。
森 ゆみ子 委員	地域子育てクラブ（旧：母親クラブ）について、清水児童館と龍田児童館にはありますが、他の児童館では、今のところ活動されていないのかなと思います。何か活動できない理由があれば教えてください。
こども支援課 橋本課長	コロナ禍のときに、それまであったクラブが休止状態になり、それが続いているというところもあります。働くお母様方も増えてきているのも1つの要因かもしれませんが、いずれにしてもこの状況のなか、我々としては地域の方に働きかけをしながら、地域と連携というのは運営方針にありますので、ご協力をいただきながら、検討したいと思います。
森 ゆみ子 委員	事前質問のなかで、中高生のボランティアについてありましたが、高齢者や地域を巻き込んでの児童館があった方が良いのではと思います。いま私自身が不登校児への支援をしていくなかで、地域に居場所を見つけ出すことが難しい状況にありま

	す。地域にある資源として、居場所の提供を今後考えてもらえたら、すごく助かると思っています。そういったところでの中高生のボランティアがあると、こどもたちは自ら居場所を見つけられることもあるのかなと思いますので、今後検討していただければと思います。
こども支援課 橋本課長	こどもの居場所づくりは我々も考えていかなければなりません。全市的な方針もありますが、児童館を居場所としてどう活用できるかは、時間をいただくかもしれませんが、考えてまいります。
水町 愛 委員	私は学生の保育士養成をしています。さきほどの松岡委員のご発言の内容にも関連しますが、子どもたちの習い事や体験の機会について考えるとき、児童館の報告を見ますと、外部講師をお招きしての講座は特に魅力が高いのかなと思います。参加者数などから見れば一概には言えない面もあるかと思いますが。予算を見ますと、報償費は館によっておよそ2倍程度の差があるところもあると見て取れました。外部講師をお招きする際の計画はそれぞれの児童館ごとに決められるものなのか、予算の割合や上限みたいなものがあるのか気になりました。 もう1点が、現在保育士を志望する人数は減少傾向ですが、これから目指そうという保育士の卵が県内市内の養成校で一生懸命学んでいます。ボランティアとして、そのような学生にも何かチャンスがあればぜひお手伝いさせていただきたいと思いますので、その点も合わせてご検討をお願いいたします。
こども支援課 橋本課長	報償費の予算はこども支援課が一括で確保したものを計画通り各館に配当し、各館は計画通り予算を執行する仕組みです。 2点目の保育士を目指す学生ボランティアについてですが、過去に児童室で実績がありました。その点もまた各館に共有させていただきたいと思います。
廣島 大樹 委員	前回の審議会後の対応状況にあります広報活動について、一昨年も昨年も同じようなことを申し上げまして、今回も同じことを申し上げますが、私が住む黒髪校区には児童館はありませんのと、我々の校区には児童館は馴染みがありませんと話をさせていただきましたが、昨年発言させていただいて、PTA協議会では、市が改善

	の取り組みをしているという情報を掴んだ時点で話題になっていまして、まずお礼を申し上げたいと思います。 ただ、もう一步踏み込んでいただきたいと思うのが、小学生だけで児童館に向かうことは所管校区では可能になると思いますが、自分の校区にない場合は保護者の送迎が伴います。情報は保護者にも届ける必要があると思います。 我々 P T A 協議会に P D F データでも構いませんので、児童館だよりを発信してくださいと依頼があれば、加入している保護者に一齐に配信することも可能かと思えます。あくまでも個人的な発言になりますので、今後、理事会のなかでも話をさせていただき、依頼があればすぐに動けるように調整します。さきほど受け皿という意見もありましたが、週末どこに行っているのか分からないという保護者もいます。児童館がある地区は良いですが、無い地区はそもそも児童館を知らないという現状は勿体なく思いますし、保護者には良い情報を知らせたいと思いますので、よろしくをお願いします。
松並 直子 委員	私は尾ノ上小学校に勤務しています。尾ノ上校区には、東部児童館がありまして、大変恵まれています。先日イベントがあるからということで、紙の児童館だよりとは別に P D F データでもいただいて、学校と保護者の連絡アプリ「すぐる」で配信しました。こどもたちに参加して欲しいイベントなど、「すぐる」を通して配信して欲しいものがあれば、学校にご相談ください。私が勝手に全学校を代表して承諾をするわけにはいきませんが、私たちとしても児童館は安心な交流の場ということで、大変ありがたい場所と認識していますので、ご相談いただけましたら、尾ノ上小学校は配信させていただこうと思います。他にもたくさんそういう学校はあると思います。
角 成一郎 委員	随分と前の話になりますが、幼稚園が西区にありますので、幼稚園協会の理事の立場でこども文化会館の委員になったことがあります。そのときは、こども文化会館は幼児中心にできた唯一の施設でしたので、活動の様子に興味を持ちましたが、児童館は、小学生の対応もあり、また、市内に 10 施設もありまして、様々な工夫

	をなさっていてすごいと感じました。私は児童館に通った記憶が遠くなってしまいましたので、全く分かりませんでした。今日ご参加の保護者からもかなり細かい生の声を聞けて、刺激を受けたところでございます。この程度でございますが、ありがとうございました。
古閑 重矩 委員	初めて参加させていただきました。私は450ある地域公民館を代表してまいりました。その他にスポーツ吹き矢の県の会長もしていきまして、今回事前質問にてご意見しました。吹き矢は大人がするスポーツで、公民館やカルチャー教室をしています。ときどきイベントにも呼ばれます。先日は南区のイベントに行きまして、こどもがすごく喜んで何回もされていました。色々なイベントがありますが、マンネリ化します。そこにボランティアでも結構ですので、スポーツ吹き矢を取り入れていただけたらと考えています。
中島 花江 委員	事前質問を提出させていただきました。こどもたちの経済格差がすごく大きくなってきていて、特に夏休みは、ひとり親家庭などは、この猛暑のなか、こどもたちだけで家庭に残っているところもあります。こどもたちの行き場として、児童館で勉強ができればいいなと思ひまして、事前質問を提出しました。なんとかこどもたちの場というのを設けて欲しいなと切に願ひます。
亀井 裕子 委員長	本当に貴重なご意見をたくさんいただきました。こどもたちの厳しい育ちの環境が目の前にたくさんありますので、それを少しでも支えるという意味でも児童館がより充実したものになりますようにぜひお願いいたします。
【議事終了】	
【閉会】	